

母音の無声化 練習 2

母音が規則的に無声化する拍の下に、小さな白まる印 "。" をつけましょう。
音声を聞き、アクセント核のある拍の右上に、かぎ印 "ㄣ" をつけましょう。

- 1 かつて ある こくさいけーざいがくしゃわ
- 2 ふとーかこーかんに かかわる ろんそーに おいて、
- 3 とどのつまり、にんげんの かちわ おなじで あり、
- 4 くくに よって にんげんの ろーどーの かちが ことなる
ことこそ、ふとーかこーかんで ある
- 5 と いった はつげんお した ことが ありました。
- 6 きんだいとわ ちきゅーじょーの ひとびとお
- 7 とどの つまりおなじ にんげんとして あつかうことでわ
なかったのか。
- 8 しかし グローバルかわ
- 9 その かくさお かくだいし
- 10 こてーか する いとなみでも ありました。

かつてある国際経済学者は、不等価交換に関わる論争において、とどのつまり、人間の価値は同じであり、国によって人間の労働力の価値が異なることこそ、不等価交換である、といった発言をしたことがありました。近代とは、地球上の人々を、とどのつまり同じ人間として扱うことではなかったのか。しかしグローバル化は、その格差を拡大し、固定化する営みでもありました。

伊豫谷登士翁『グローバリゼーションとは何か：液状化する世界を読み解く』
平凡社、2002 の「おわりに」より